

退職者 NO.147-
こだま会報



発行日：2025年2月15日／季刊第147号
 編集・発行：神奈川県職労連退職者こだま会
 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 県庁地下1階
 発行人：加瀬文隆
 ☎045 (212) 3179 (代) Fax 045 (212) 3178 (代)
 Eメール kodama@kodamakai.sakura.ne.jp
 URL http://kodamakai.sakura.tv/



秋の世田谷城址・豪徳寺を歩く 阿部 豊

小田原北条氏滅亡とともに廃城に
 地形を利用し館の周囲を土塁、堀で囲った世田谷城址は関東平野部の中世の城の特徴を良く残している。館の主は小田原北条氏で要職にあった吉良氏、小田原城落城で同じ運命をたどったこと等々を聞く。土塁や空堀を歩けば同好の士と行き交う。

11月13日晴れ。参加者7名は、街歩きにはほど良い人数だ。ランドマークのキャロットタワー1階の世田谷線三軒茶屋駅から乗車。車内は満員、地域の生活の足となっているようだ。世田谷駅で下車。住宅街を歩くと正面に城址らしい森が見える。講師から説明をうける。



ずらっと並んだ招き猫



豪徳寺三重塔の前で

区道に戻り隣接の豪徳寺へ。
豪徳寺も海外からの人が多かった
 立派な松並木の参道と境内の広い大谿山豪徳寺。猫が取り持つ縁で彦根藩主井伊家の菩提寺に。古くから猫寺とも。案内所は大勢の行列ができ、その人波は招福観音堂を囲む招き猫の納め場へ続く。奉納掛けの絵馬を見ればほとんど横文字ばかりだ。三重塔と色付き始めたカエデを背景にみんなの写真を撮り、井伊家墓地へ。

時間を都合で八幡さまは、駆け足になったが、宮の坂駅前解散した。講師を務めてくださった瀧本さん、ありがとうございます。
 世田谷八幡に立ち寄って無事終了。僅か歩いて世田谷線の踏切を越えると世田谷八幡。社殿へ向かう階段の上り口の脇に相撲の土俵があり、珍しかった。

*お知らせ…こだま会は毎週火曜日、10時～16時に開所しています。第5火曜日は閉所しています。

神奈川県職員 九条の会



講師 渡辺治氏

総会と平和の集いを開催

高橋 一枝

神奈川県職員九条の会は、10月5日に「2024年総会・平和の集い」を開港記念会館で開催し、38名が参加しました。

総会で新体制、名称変更を採択

総会では加瀬代表幹事が「九条の会が発足して20年。日本を戦争する国にさせない役割を果たしてきた。しかし、若い人たちにどう繋ぐかなどの課題もある。皆さんと九条を守るとりくみを広げていきたい」と挨拶

挨拶。星事務局長が1年間の活動報告と会計報告を行い、次年度のとりくみ、新体制、会の名称変更(神奈川県および県立病院等県関連職員九条の会)を提案し、拍手多数で採択されました。

平和の集い

引き続き「平和の集い」では、一橋大学名誉教授・渡辺治氏による「軍拡・改憲の新局面と私たちの課題」をテーマとした講演が行われました。講演で渡辺氏は、岸田政権が安倍軍拡路線を超える戦争する国づくりを進めてきたことを明らかにし、こ

投稿 医療的ケア児を 支援する 内山 繁樹

私は、今年定年を迎え、第二の人生を学校看護師として県立の支援学校で働き始めました。看護職として入職し、重度の障害のある子どもたちの看護の経験もあり医療的ケアの必要な子どもたちの支援に携わりたいと思ったからです。

医療的ケアの内容は、人工呼吸器や気管切開部の管理、経管栄養、喀痰吸引、胃ろう、導尿、インスリンの管理などがあります。対象となる医療的ケア児は、日常生活で継続的に医療ケアを受けることが不可欠です。

私は支援学校で、茅ヶ崎市の公立小中高学校に通学している医療的ケア児に、看護師として医療的サポートを行う仕事をしています。医療的ケア児が通院している病院の主治医が作成した「学校における医療的ケアの指示書」に基づいて、学校で医療的ケアを行います。

胃ろうからの経管栄養、気管内吸引が必要なお子さんや、人工呼吸器を付けているお子さんなど、学校生活の中でも、それぞれのお子さんの病状に合わせた適切なケアが必要です。

例えば、Aちゃんは気管切開をしており、発声はできません。気管カニューレと喀痰吸引の管理が主なケアとなります。毎日数回程度の吸引が必要となります。吸引は、授業中や食事中など必要時に対応できるように、看護師は医療的ケア児のそばで常に待機しています。医療的ケア児に関する学校での情報は担当の先生と情報交換できる体制があり、相談ができる環境もあります。

学校において医療的ケアを実施する意義は「看護師は医療的ケア・教師は授業」それぞれがその専門性を活かしてサポートすることで、医療的ケア児が安全に学ぶべき環境を整えられ、毎日学校に通うことができる」ことだと思います。私は医療的ケアに関わってまだ日も浅く、未経験なことも多いですが、医療的ケア児が日々の成長を安全に積み重ね続けられるよう、今後も支援していきたいと考えています。

「第41回 こだま会定期総会」のご案内

とき 2025年6月20日(金) 10時受付
10時30分開会 12時30終了
ところ JR本郷台駅「あーすぷらざ」
(県立地球市民かながわぶらざ) 1階
会議室
☆終了後、同ぷらざのレストラン「SOBANI」
で懇親会(12:45から14:30)
☆今回は役員改選の総会です。(公募については6ページ参照)



目頃の成果を発表

第27回ふれあい手づくり文化祭開催

倉田 直亮



今年も神奈川県自治労連退職者会による恒例の手づくり文化祭が、10月26日(土)に横浜市従会館で開催されました。文化祭は今回で27回目となりますが、コロナウイルス感染防止のため令和2〜4年は休止され、昨年からこだま会、横浜市従退職者会、鎌倉市役

所退職者会と合同で再開されました。

当日の出席者は約120名で、例年横浜市従の出席者が多く今年も90人以上で、こだま会からは約20名が出席しました。

人柄や熱意がにじむ作品展

文化祭は手づくり作品展とステージ発表の2部からなり、3階会議室では手芸、彫刻、写真、リサイクル作品、俳句、切り絵、スケッチ、書道、絵手紙等の作品が展示されました。どの作品も作者の人柄や熱意がにじむ作品ばかりでした。

さまざまなステージ発表

4階のホールでは、加瀬会長や来賓挨拶のあとメインイベントである21人と3グループによるステージ発表がありました。プログラムに就いて唄や踊り、フラダンス、和服の着付け等が午前から午後にわたって発表され、こだま会員の瀧本哲彦さんのチェロ演奏は、どの人もじっと聞き入っていました。



展示をじっくり



合唱でお開き

健康相談や弁当などの販売コーナーも

また会場内には健康相談や血圧測定、缶ビールや日本酒、弁当等の販売コーナーもあり少々アルコールが入った人もいて和気あいあいとした雰囲気でした。

すべての発表の終了後、全員で「ふるさと」等の歌を数曲合唱して閉会しました。

この文化祭は会員の皆さんの日頃の成果発表の場であるとともに、1年振りの再会の場でもあり、来年以後も続けて欲しいと思えました。

こだま俳壇(十二月句会)

寒見舞われ息災と大書して

角田 英昭

傘の柄に深き傷あり初時雨

柳瀬 節子

冬の田の畦道長し筑波山

友井 眞言

目白きてつがいでつづく残り柿

島田多嘉子

ベビーカーのややのあんよや冬日和

中野みどり

大山が控え相模の冬田かな

大塚 敏高

空つ風仔犬のように鳴いている

白井保次郎

冬田駆け一時間目に遅れまじ

瀧澤 正行

冬日和布団干す手に力入れ

中村 桂子

静寂の中心にある冬田かな

並木まり子

冬田にて収穫のがす柿幾つ

後藤 貞夫

冬温し白墨書きのアラカルト

坂 守

霜深し母と妃殿下同い年

高橋 和江

冬日和孫と手つなぎ歩くかな

常世田芳子

一人行く落葉の道の楽しさよ

松尾佐知子

冬田にてぼつんとたてり案山子かな

小室 豊子

絵手紙に元気と二文字小春かな

田中 一男

冬日和あぐらの中に猫眠り

講師 太田士男先生

鎌倉方面歴史散策 北条氏関連・鎌倉散策 パートVIに参加して

菅野 明雄



鎌倉三大洋館 旧華頂宮邸

興味を惹かれ 10月24日に開催された「歴史散策」に参加しました。厚木の片田舎住まいで、これまで「こだま会」の行事は遠い都会での出来事のように参加してきませんでした。しかし、もう先もそう長くはなさそうだし一度は会の催しに顔を出してみようかと考えていたところ、今回の「鎌倉散策」に興味を惹かれ、そして説明者が昔懐かしの一杉さん、何年ぶりの再会ができるとの期待もあり参加した次第です。

当日は天気にも恵まれ、13人の一団で鎌倉駅からバスで出発。他にも知っている方々にお会いできて嬉しい旅となりました。名所の数々「金沢街道」沿いの名所を巡る企画は、多分に歴史に疎い私に



明王院にて

も、一杉さんの明快な解説のおかげで少しは利口になったような気持ちでした。めっきり衰えた記憶力で思い出すと、明王院では趣のある門と茅葺き屋根の本堂とその裏山の高く切り立った崖の地層もあらわな露頭を仰ぐ。

旧華頂宮邸庭園に建つ味わい深い洋館、建築職でありながら知らずにいた不明を恥じる。報国寺では眼前に見事な竹林を眺めながらお茶を頂き、散策では可愛らしい磨崖仏を見る。杉本寺では「落馬伝説」の紹介に笑い、百段の石段を登り「十一面杉本観音」の白旗に囲まれた本堂着、有難くもご開帳で、本尊に合掌できた。

他の箇所を含めそれぞれに学びがあり楽しかったです。

楽しい語らい

巡り終わって8人ほどで入った駅近の食事処では、「今朝大船渡から入荷した」という大ぶりの秋刀魚の塩焼きを肴に楽しい語らいがありました。ありがとうございました。

「これからの県立施設を考える会」第6回集い開催 〜どんな障がいがあっても安心して豊かに暮らせる地域を目指して〜

安西 弘

11月30日、第6回集いをウイリング横浜で開催し、会場67人とZOO M34人、計101人が参加しました。まず主催者から「県立障害者支援施設の方性ビジョン」について報告、①地域の実態把握なしの施策や基本計画で、今年度予算に基盤整備の新規事業がほとんどない、②県の役割では、研究と人材育成だけでなくセーフティネットの中核的機能こそが公的責任で、その役割分担堅持を民間も求めている、③新規入所停止をやめ受入れ再開すべき、④県立施設の移譲や独立行政法人化は県の責任放棄、県立の形態を堅持発展すべき、⑤有識者会議の構成が偏り、関係者の総意が反映されていない、⑥今の県施策の矛盾を千葉県長生村の中井やまゆり園元利用者の殺人事件が象徴しているなど、問題点や課題を提起しました。

次に、「障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会」会長の新井たかね氏から「障害のある人の自律した多様な暮らしと家族のノーマライゼーション」について、「地域の暮らしの選択肢には入所施設も必要」「入所施設を削減し地域移行を進める国

の方針に対して、厚労省と懇談を重ねて3か所新設の承認、施設入所待機者全国調査の実施を確認した」「家族の人権保障や福祉労働者の地位向上も大事」等の話がありました。

また、佛教大学社会学部教授の田中智子氏からは、「障害者・家族の地域生活の現状と課題」NHKとの共同調査を通じて明らかになったこと」について、「入所施設やグループホームには多数の待機者がいる」「約3割の自治体は実態が未把握」「親子共に自律できる暮らしの場の必要性、それは社会の羅針盤」「職員は人生の共同者である」「家族の老いる権利と看取る権利」等の話がありました。

続いて、横浜市内の偕恵園施設長の荒井忠氏からは、県が言う「先進的な民間施設」はごく一部であり、多くは厳しい運営実態にあること、中井やまゆり園職員の倉形洋一氏からは、「中井やまゆり改革」は失敗であり、慢性的欠員と高圧的アドバイザーにより職員の意欲は減退、中途退職や転出希望が増えている実態が報告されました。その後、参加者との活発な意見交換を行いました。

報告

神奈川自治労連退職者会 第33回定期総会

酒井 道生

10月17日(水)、横浜市従会館で神奈川自治労連退職者会の第33回定期総会が開催されました。

会長あいさつ

冒頭、加瀬会長から、「アベノミクスのおかげで若者も高齢者も生活が大変になっています。今回の選挙は、自公過半数割れと同時に、維新や国民民主含めた改憲勢力を改憲発議に必要な3分の2未満にすることが重要です。暮らしを壊し戦争する国に邁進する石破政権に審判を下しましょう。」との挨拶がありました。

来賓からの訴え

来賓の倉形洋一神奈川自治労連委員長からは、自治体労働者の状況について報告があり、あたりまえで健やかな労働ができる環境づくりに向けて取り組みを進めようとの訴えがありました。

議案の提案と質疑討論

その後2024年度活動方針(案)などの議案が提案され、質疑討論が行われました。こだま会の松尾悦行さんから「県は障がい者の実態調査をせずに計画を作っている」と批判し、11月の集いへの参加要請をするとともに生活保護の裁判闘争報告と生活保護要求の修正提案がされ、小島八重子さんからは、「黒岩県知事の人権侵害を無視したことのできない女性たちの会」のとりくみについての発言がありました。

要求修正の上、すべての議案が承認されました。



目の当たりにした高齢者パワー

仲戸川 実

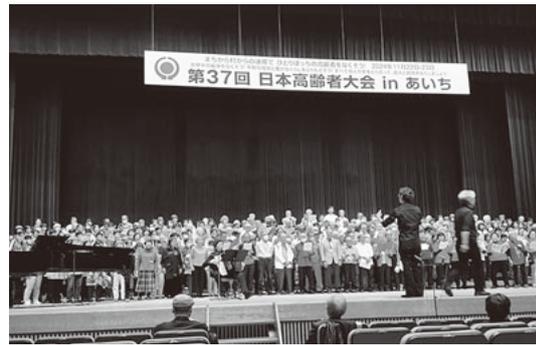
第37回日本高齢者大会 in あいち

第37回日本高齢者大会 in あいちが11月22日・23日に名古屋国際会議場で開催されました。

1日目は、1200人の参加で6学習講座、10分科会、3移動分科会、2つの夜の交流会が行われました。

医療費の窓口負担とは何か

私は学習講座「医療費患者自己負担を減らしてゼロへ」に参加、「日本のように医療費などの窓口負担が高い国はない。」「窓口負担



にきている。という指摘に、なんとおっしゃる。という指摘に、なる

とは何か、人権の視点から歴史と原理論、国際比較を踏まえ、私たち、が学び、立ち上がる時

障害者権利条約を解説

神奈川からの現地参加者は40人、夜の交流会には39人が参加。参加者全員が自己・活動紹介を行い、大変有意義な交流の場となりました。

2日目の全体会は1500人の参加者が集い、こだま会から3人がオンライン参加しました。オープニングの「高六太鼓」や「300人のうたごえ大合唱」も迫力満点で感動しました。

また、来賓あいさつにはノーベル平和賞受賞に決まった日本被団協の東海北陸ブロック代表理事が、講演先から帰宅の途中の列車の中で隣り合わせになった初対面の若者から「受賞」を知らされ、自分の身分を

明かしたら一緒に喜んでくれたというエピソードも紹介されました。

記念講演は、日本障害者協議会代表の藤井克徳さんが「障害者運動からの伝言―人権は生きる力 新たな国際規範づくりにむけて」と題して、日本国憲法も引用しながら国連の障害者権利条約を解説、みんなで今後取り組むこととして4点提起しました。

- ① 高齢者政策の転換
- ② 「30%の有権者」の力を発揮
- ③ 国内人権機関の創設
- ④ 高齢者権利条約(仮称)の制定に展望を

日本高齢者大会に参加して、改めて高齢者パワーを目の当たりにして大変有意義な大会となりました。

お悔み申し上げます

11月15日以降、事務局に連絡をいただいた亡くなられた会員の方々です。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 上田 豊子 様(1936年生れ)
- 岡島 康夫 様(1943年生れ)
- 荻野 隆運 様(1935年生れ)
- 村松 滋 様(1935年生れ)
- 中里 益夫 様(1931年生れ)
- 坂田 静子 様(1930年生れ)
- 鈴木 三郎 様(1930年生れ)

昂揚する賑わいのなか こだま句会、

酉の市吟行

友井 眞言

商売繁盛！ヨォーお手を拝借、シャシヤンのシャシヤン

南区真金町の金刀比羅大鷲神社の周辺には、熊手の店が沿道にたくさん並び、熊手が次々に売れ、この手拍子が繰り返り広がっていました。

次々に売れ商売繁盛を期待

こだま句会は11月5日に酉の市吟行を行い、9人が参加しました。

大鷲神社、横浜橋通商店街、などを吟行しました。

大変な賑わいで、土建業の親方、水商売風の女性、料理人風の人など、商売繁盛を期待して熊手を買い求める人でいっぱいです。

大熊手をかっさ得意顔

熊手は豪華絢爛な大きなものは数10万円もするそうです。それがどん



句会仲間もシャシヤンのシャシヤン

どん売れるのだから驚きです。大熊手をかっさいている人はなんとなく得意そうな顔です。

小さい熊手も賑やかに手締め

句会の仲間も相応に小さい熊手を買いましたが、シャシヤンのシャシヤンは同じです。

いなせなお姐さんの音頭で、3〜4人の店員の賑やかな手拍子ですが、何やら気恥ずかしそうです。

句会の女性が買った時に、この人は「料亭の女将さんだよ」と言ったら、バレたらしくて大笑いで、「手締め」をやってくれました。

句会は、関内駅裏の「萩」で、弁当とビールを飲みながら行いました。

熊手買う自分の幸か平和道

並木まり子

熊手持て気は大きくもなりにけり

高橋 和江

路地裏に廓の名残酉の市

松尾佐知子

足止まる研屋の店や酉の市

島田多嘉子

酉の市遊郭跡へ廻りけり

田中 一男

大熊手買えぬ我とて頃合いを

大塚 敏高

酉の市自適に生きて飴を売る

坂 守

酉の市粋な姐さん手締めして

瀧澤 正行

大熊手買い手の照れる手締めかな

友井 眞言

「来て良かったわあ!!」

第4回健康教室 吉田 綾子



「久しぶりに身体を動かして気分もすっきりよ」賑やかなこんな声があがったのは、本郷台駅近くのあーすぶらぎ1階。11月7日、石川正士先生を講師に迎えてこだま会恒例の第4回健康教室が開催されました。



米寿には見えな
い先生
は、わか
り易く30
分講演。
シニアの
体操は筋
力をつけるより脳の活動と連
動して体を動かすもの、なる
ほど！

まず先生と後出しジャンケンでグーに勝つ、チョキに負ける…、更に右手と左手で同

じようにする。「えー、ちょっと待ってよ」「それは無理」、混乱した脳から悲鳴！
その後は背伸びから前後に屈伸ひねり等のストレッチをして、歩きながら三歩目に腿上げやらスキップ、横歩きなどを笑いながら実施。軽く汗ばむほどに身体も心もほぐれて皆さんニコニコ顔となる楽しい1時間でした。
男性3人と女性8人の参加者は各々に「もつと沢山参加しないともつたないわ」「あちこち痛んでいたのを忘れてしまったよ」等の感想を口々にしていました。
ぜひ次回は新たな顔ぶれを増やして楽しく動きたいものです。
参加待ってまーす！

こだま会役員の 公募について

役員選考委員会委員長 川田勝利

当会の役員は会則12条により総会で選出することになっていますが、恒例により幹事会のもとに役員選考委員会を設置し、役員を公募したうえで、総会に提案します。下記の要領に基づいて、積極的にご応募くださるようお願いいたします。

記

- 1 役員の任期：2年（2025年6月総会～2027年6月総会）
- 2 応募人数：幹事20人程度 監査2人
- 3 幹事会：年6回程度。日常業務は事務局を中心に実施します。役員は組織、文化・レク、歴史教室、料理教室、健康、会報編集、平和、句会、共済、ホームページ、会計などの会の業務を相互に分担執行します。
- 4 応募方法：①氏名②住所③連絡先（固定電話・スマホ、ファックス、メール）
- 5 応募先：こだま会役員選考委員会
Fax番号 045-212-3178
Eメールアドレス
kodama@kodamakai.sakurane.jp
- 6 応募締切：3月24日（月）
- 7 連絡先：こだま会事務局（第1～第4火曜日10時～16時）
☎ 045-212-3179
Fax 045-212-3178

※12月も間近に迫っていますが、庭の柴はまだ緑。身近に温暖化の影響を感じています。

渡邊仁人 (秦野)

※いよいよ師走も明日からとなりますが、天気も小春日和を感じさせてくれる好日です。いつもいろいろな情報をお知らせいただき、かつての同僚の方々の様子も読ませていただきありがとうございます。

榎田富久子 (横浜)

※会報、いつも楽しみにしています。いつも、メール、葉書と迷っている間に時間が過ぎていきます。今回は、さつき会報が届いたので、早速メールにしました。年々抽斗が小さくなり、幸か不幸か忘れた事も忘れていきます。

門松真由美 (小田原)

※今年の奥信濃の冬は、11月中旬に初雪数センチ、その後一昨日12月10日夜半から約24時間に25センチ、12月初旬で、まだそれほどには積もらないだろうと高をくくっていました。が、畑には取り残したみずみずしく甘い大根、今高値のキャベツ、平年並みの価格の白菜、残念ですが、2メートル近くの雪が解ける来春までお預けです。その分、「雪中貯蔵」で一層甘い野菜になってくれます。ただし、地下活動のネズミのター

会員の広場



ゲットを免れた場合ですが。

12月起きがけに韓国での「戒厳令」布告の報道、1960年代からの同国のクーデターによる軍事独裁の歴史を知っている世代として、また、今時にと、歴史の逆流を懸念したところですが、軍事独裁の弾圧の下、幾多もの犠牲により勝ちとった民主主義で鍛えられた国民の素早い行動でクーデターは頓挫させられ、民主主義は守られました。これにつけ、

隣国の民主主義の根強さに敬意を抱くとともに、今、自民党が憲法に持ち込もうとしている「緊急事態条項」なるものに、戦前の軍部の独裁を想起し、絶対に阻止するべきだと思つたのは私だけでしょうか。

山本秀実 (飯山市)

※年令には勝てないもので最近杖をたよりに週一回の買い物、月一回の医者通いをしています。特に階段の下りには気を使います。

小林平治 (藤沢)

※仲間とのゴルフを楽しみにしています。歩くことが大事と日々精進しています。

飯田隆介 (横浜)

※毎回会員の方々の近況報告などを楽しみにしております。

藤巻照久 (横浜) (8面につづく)

クロスワードパズルで頭の体操

◇応募要領◇

- ①ヒント：2重枠に入った文字をAからEの順に並べてできることは？
- ②回答送付先：〒231-8588 横浜市中区日本大通1 県庁舎地下1階神奈川県職労連退職者こだま会パズル係
- ③郵便葉書に答、住所、郵便番号、氏名を記入し、3月15日までに上記②へお送りください。メールも可。
- ④賞品：正解者から抽選で3人の方にクオカード進呈します。
- ⑤発表：次号(5月15日号)

前回の答「オトシダマ」

オ	オ	バ	■	エ	シ
オ	ト	リ	サ	マ	■
ミ	ソ	■	ロ	■	ヤ
ソ	■	カ	ベ	カ	ケ
カ	ド	マ	ツ	■	イ
■	ウ	ド	■	ダ	シ

●当選おめでとう●

抽選で3人の方にクオカードを進呈します。カードの発送を持って発表にかえさせていただきます。

		答				
		A	B	C	D	E
1			2	3		4
			5			
6	7					8
9				10		
11			12			
13					14	

係から：回答はがきの余白に、本紙についての感想や要望、身近かな話題などひとこと。「会員の広場」欄などに掲載させていただく場合があります。匿名の場合は「匿名希望」とご記入ください。

- 1 たてのカギ
- 1 定額料金で好きなだけ料理を
- 2 古代の洞窟などで発見される
- 3 アートなど
- 3 ○○は一年草、その種子が米
- 4 昭和流行の○○○○喫茶
- 7 四十七士が雪の中
- 8 ヒヤリングの日本語
- 10 山陰沖の「○○葉ガニ」
- 12 自然を守る暮らし方、○○生活
- 1 世界最大の海、マゼランは「平
- 5 餅つきの道具、ウスと○○
- 6 日本国内で作られた映画
- 8 俳句の春夏秋冬を表す
- 9 福は○○、鬼は外
- 10 魚釣り、○○○で魚寄せ
- 11 食事や運動で減量すること
- 13 西日本で煮干のこと
- 14 預貯金に付いて受け取れるもの

予告!! 予告!! 予告!!

- 19日国会行動 (毎月)
と き: 3月19日 (水) 18時30分~
4月19日 (土) 14時~
5月19日 (月) 18時30分~
集 合: 17時30分 JR新橋駅SL広場
(4月は13時)
- 県職員九条の会
と き: 3月8日 (土) 10:30~12:30
集 合: 小田急生田駅改札口 9時50分
場 所: 明治大学平和教育登戸研究所資料館
内 容: 企画展「風船爆弾作戦と本土決戦
準備-女の子たちの戦争」
(ガイド付き見学ツアー)
参加費: 無料
* 募集人員等詳細は、同封のチラシ参照。
- 「てく・テクの会」鎌倉中央公園の桜とミニハイク
と き: 3月27日 (木)
集 合: JR鎌倉駅西口 (市役所側) 改札
10時30分
場 所: 鎌倉中央公園でお花見。山崎・台
峯緑地へのハイキング
* 詳細は同封のチラシ参照
- 歴史教室 (散策) 近現代史編 第1回
関内・新港地区を歩く
テーマ: 「横浜開港」
と き: 5月29日 (木)
集 合: JR関内駅南口改札口 9:45
* 詳細は同封のチラシ参照
- 第41回こだま会定期総会
と き: 6月20日 (金) 10:30~12:30
(10時受付)
場 所: JR本郷台駅「あーすぶらざ」
1階会議室

風景写真



マッターホルン 常世田芳子さんの作品

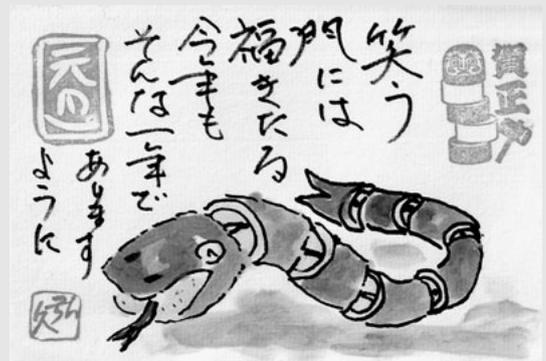
「こだま会報」に
あなたの投稿を!

会員の皆様からの投稿をお待ちしています。
身の回りのことなど何でもかまいません。
「こだま会報」の紙面をみんなで作っていき
ましょう。絵手紙、絵画、写真などの作品も
お寄せください。
投稿や作品、パズルの回答は下記のアドレ
スへどうぞ。
kaiho@kodamakai.sakura.ne.jp

(7面のつづき)
※知っている人の投稿を見つけ、読
むのが楽しみです。
中平正和 (横浜)



岩柳良雄さんの作品



奥津弘久さんの作品

水彩画と絵手紙

新シヨウガの出るころには必ず、まず絵の
モデルになってもらい、香りを楽しみ、そ
して甘酢漬けにします。



宮澤恭子さんの作品